

2020年3月期 (第18期)

第2四半期決算説明会

2019年11月6日

株式会社ジーダット

1. 2020年3月期 第2四半期決算概要

2. 下期拡販戦略と今後の取り組み

3. 2020年3月期 通期予想

売上高 前年同期比：0.8%増	営業利益	前年同期比：183.8%増
	経常利益	前年同期比：122.4%増
	四半期純利益	前年同期比：142.8%増

固定費圧縮の結果、利益が増加

自社開発製品の売上伸長により利益率が上昇

海外市場向け売上は減少

上半期実績

－ 前年同期比・計画比 －



(単位：百万円)

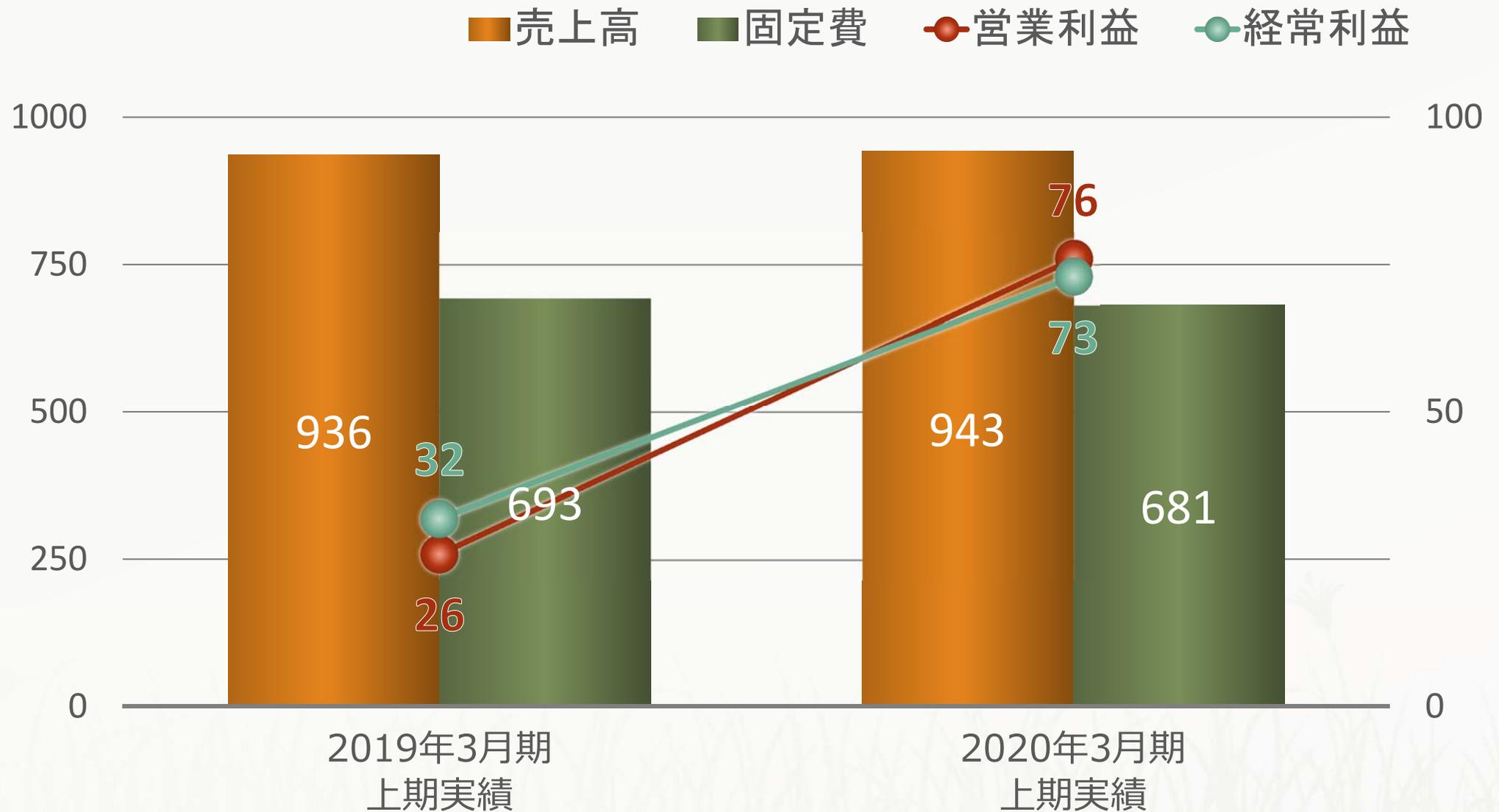
	2019年3月期 上半期実績	2020年3月期上半期			
		期初計画	実績	前年 同期比	計画比
売上高	936	992	943	+0.8%	△4.9%
売上総利益 (率)	552 (59.0%)	582 (58.7%)	553 (58.6%)	+0.2%	△5.0%
販売費及び 一般管理費	525	514	476	△9.2%	△7.4%
営業利益	26	67	76	+183.8%	+13.5%
経常利益	32	67	73	+122.4%	+8.7%
四半期純利益	20	45	49	+142.8%	+8.2%

上半期売上高・利益

－ 前年同期比 －



(単位：百万円)



貸借対照表

－ 前期末比 －

(単位：百万円)	2019年 3月末	2019年 9月末	差異		2019年 3月末	2019年 9月末	差異
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産	3,069	3,253	183	I 流動負債	452	620	167
1 現金及び預金	2,583	2,750	166	1 買掛金	26	46	19
2 受取手形及び売掛金	247	244	△ 2	2 未払法人税等	28	29	1
3 電子記録債権	158	137	△ 20	3 賞与引当金	82	82	0
5 仕掛品	8	20	11	4 前受金	210	392	181
6 原材料	1	0	△ 1	5 その他	105	69	△ 35
7 その他	69	99	30	II 固定負債	3	6	2
				資産除去債務	3	6	2
				負債合計	456	626	170
II 固定資産	194	192	△ 2	(純資産の部)			
1 有形固定資産	37	43	5	I 株主資本	2,808	2,818	10
2 無形固定資産	6	5	△ 1	1 資本金	760	760	－
3 投資その他の資産	150	143	△ 7	2 資本剰余金	891	891	－
(1)投資有価証券	50	48	△ 1	3 利益剰余金	1,185	1,196	10
(2)繰延税金資産	38	34	△ 3	4 自己株式	△ 28	△ 28	0
(3)その他	61	59	△ 1	II 新株予約権	0	0	0
				純資産合計	2,808	2,818	10
資産合計	3,264	3,445	181	負債純資産合計	3,264	3,445	181

キャッシュフロー計算書

－前年同期比－

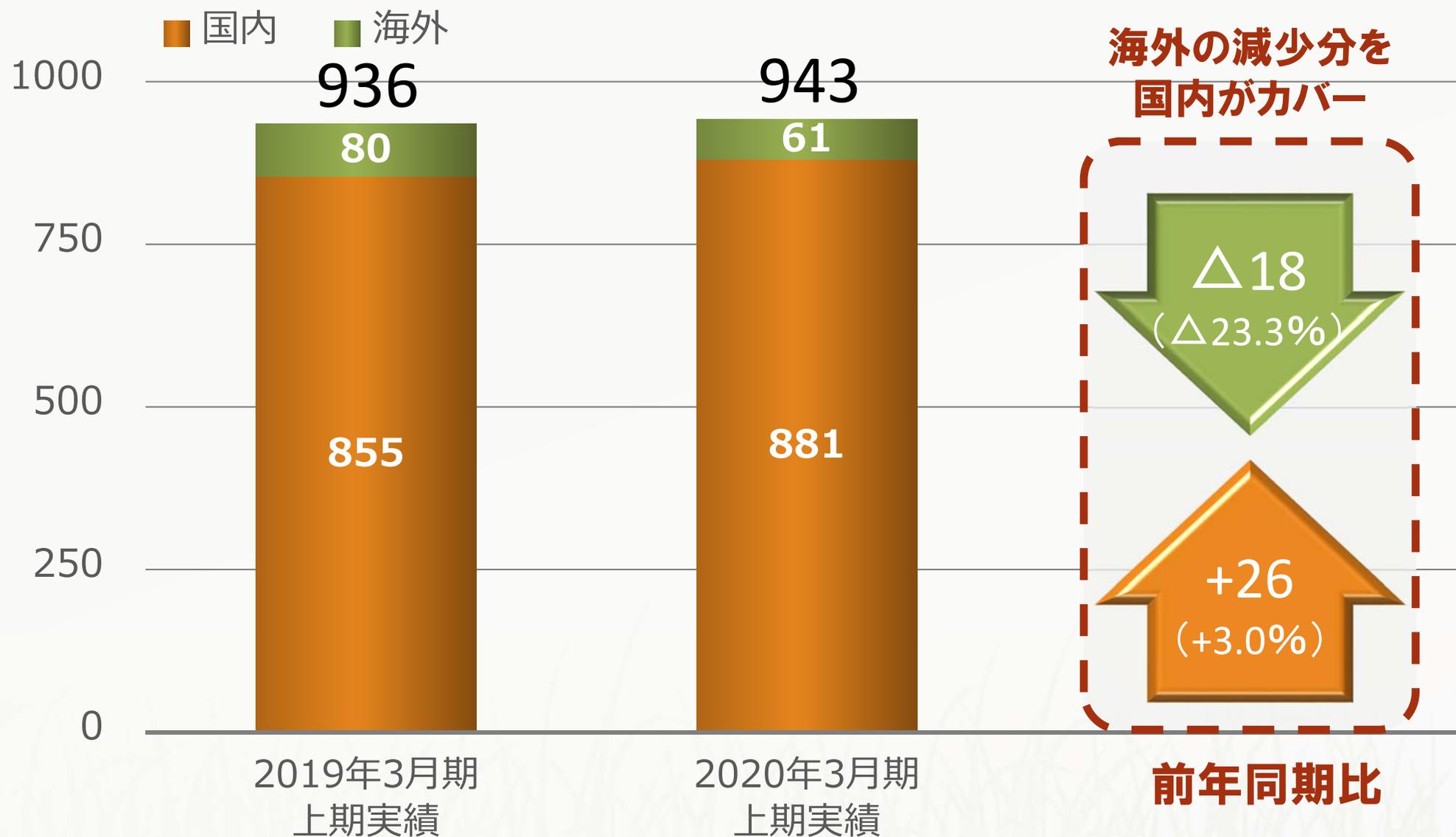


(単位：百万円)	2018年4月1日	2019年4月1日	差異
	～ 2018年9月30日	～ 2019年9月30日	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	164	217	53
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	167	△11	△179
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△38	△38	△0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0	△0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	294	167	△127
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,447	1,656	208
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,742	1,823	167

地域別売上高（国内/海外）

—前年同期比—

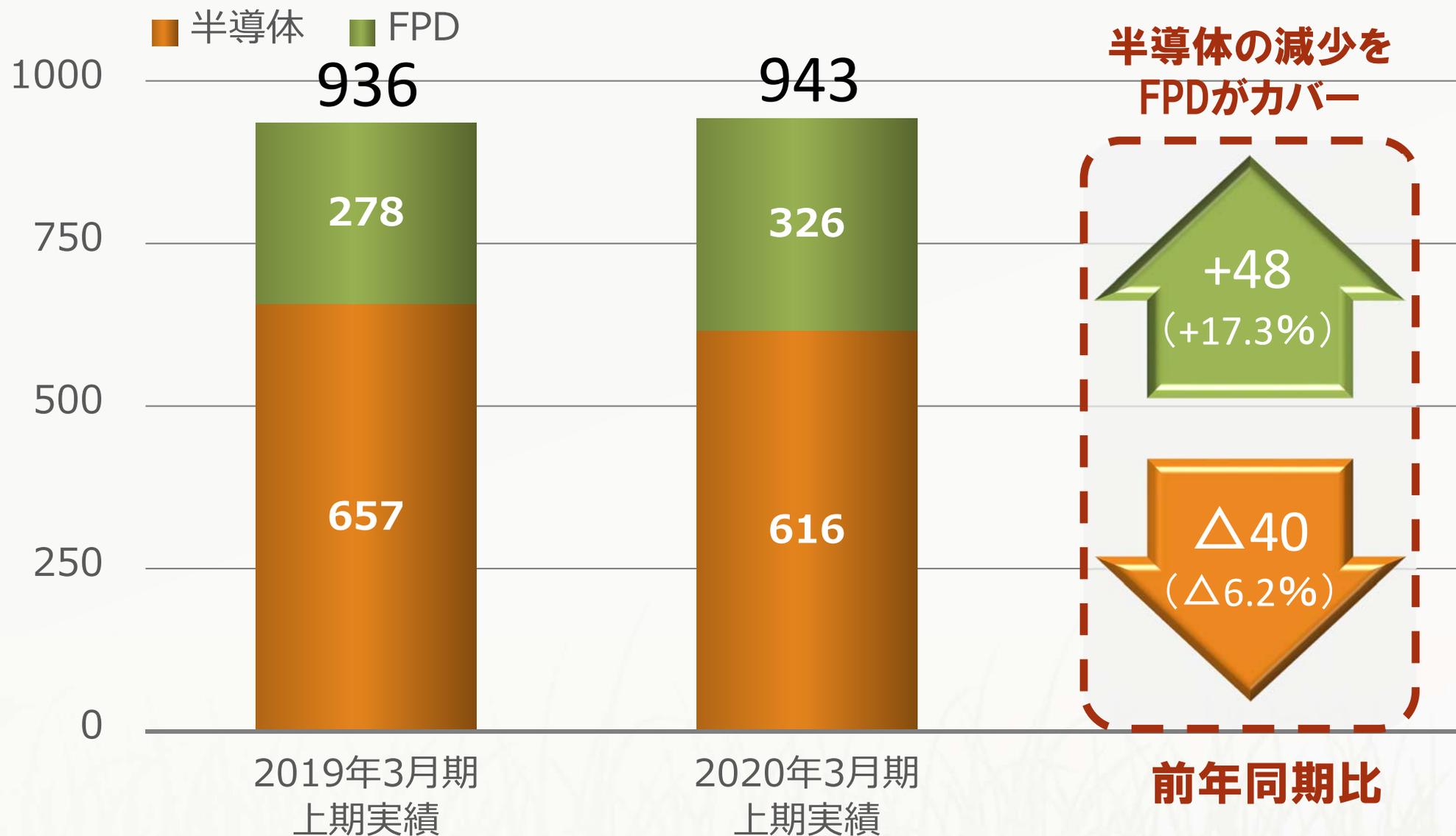
(単位：百万円)



市場別売上高（半導体/FPD） - 前年同期比 -

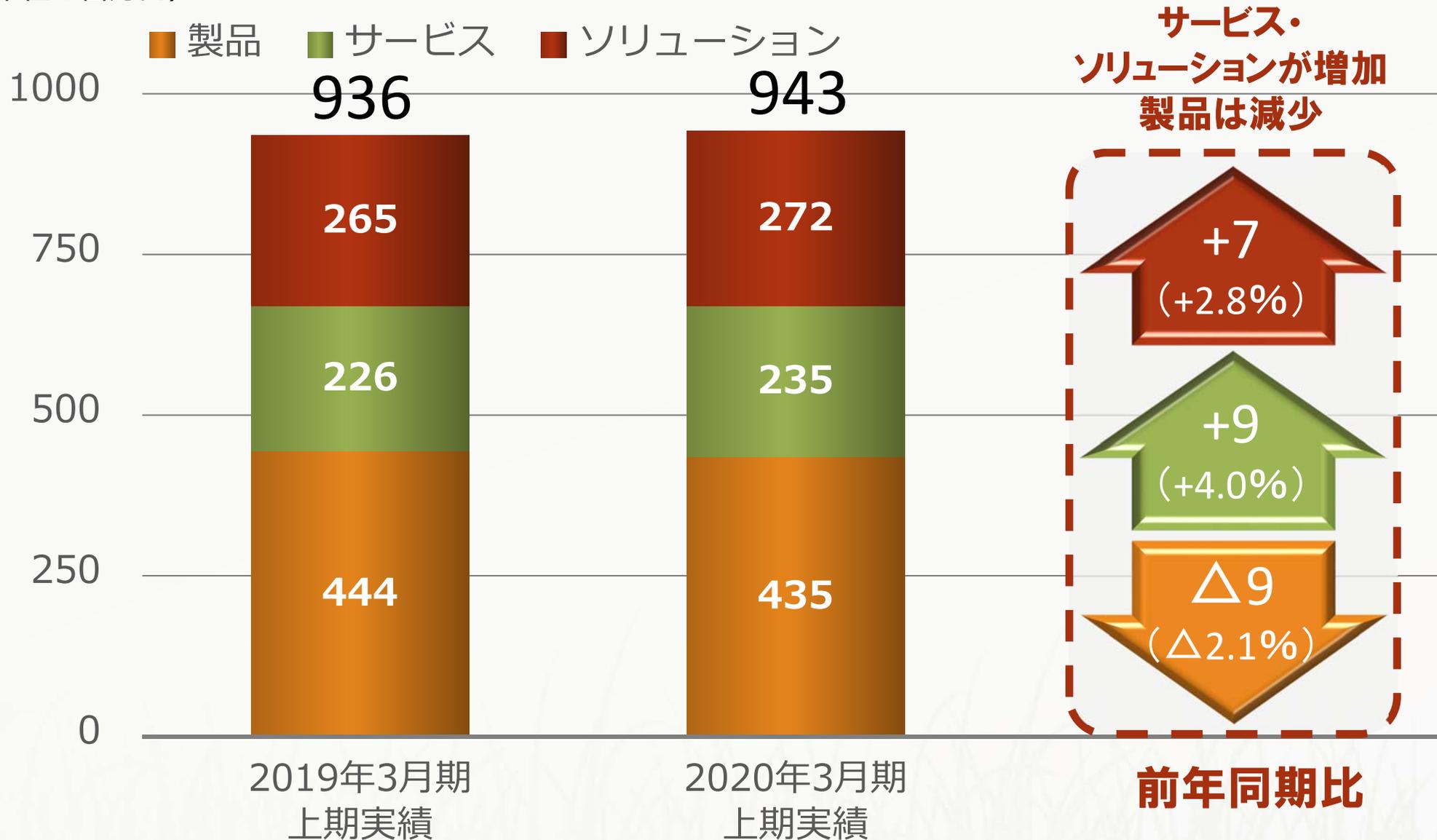
(単位：百万円)

※FPD: Flat Panel Display



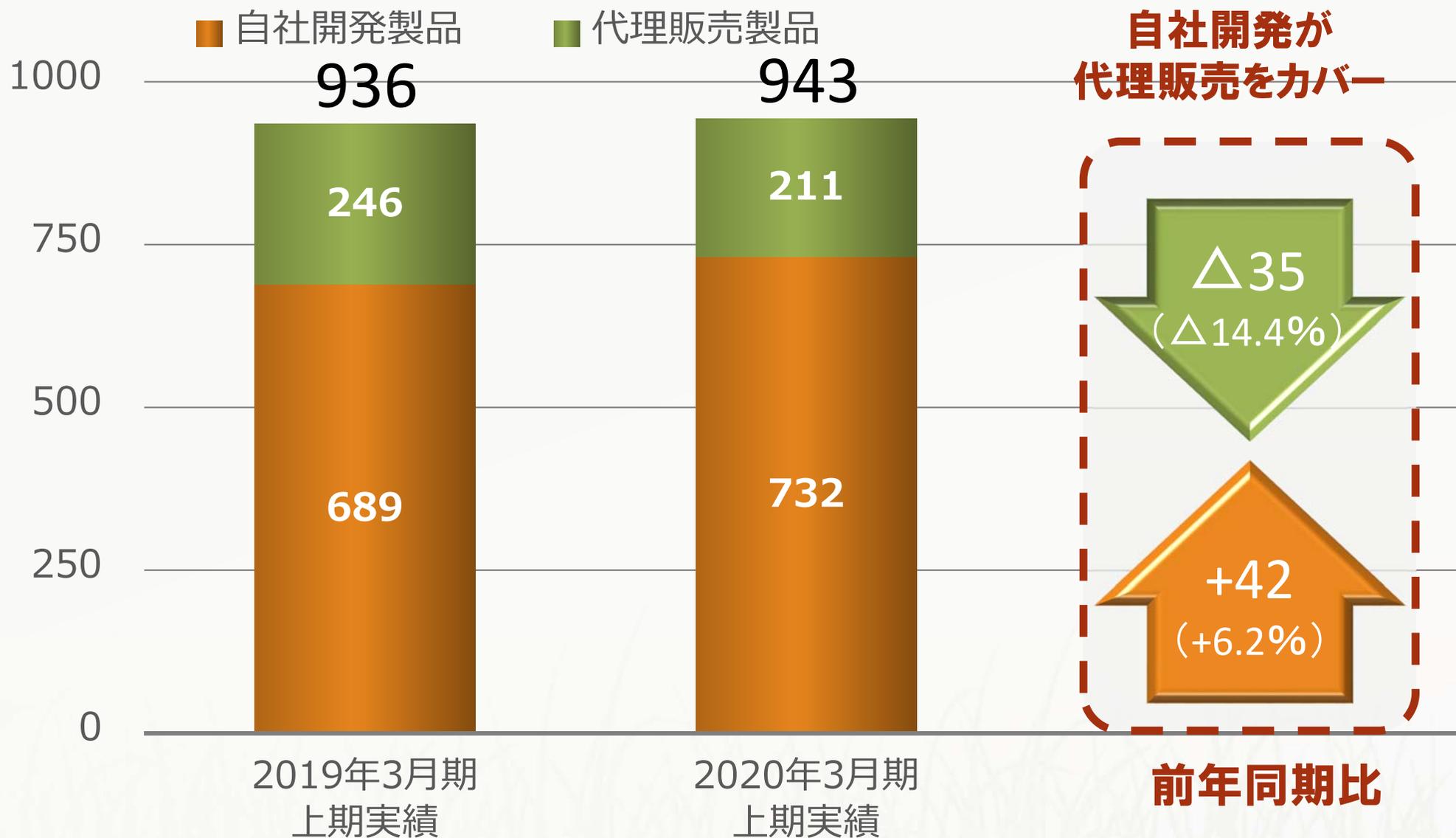
事業別売上高（製品/サービス/ソリューション）－前年同期比－

(単位：百万円)



製品区分別売上高 (自社開発/代理販売) -前年同期比-

(単位：百万円)



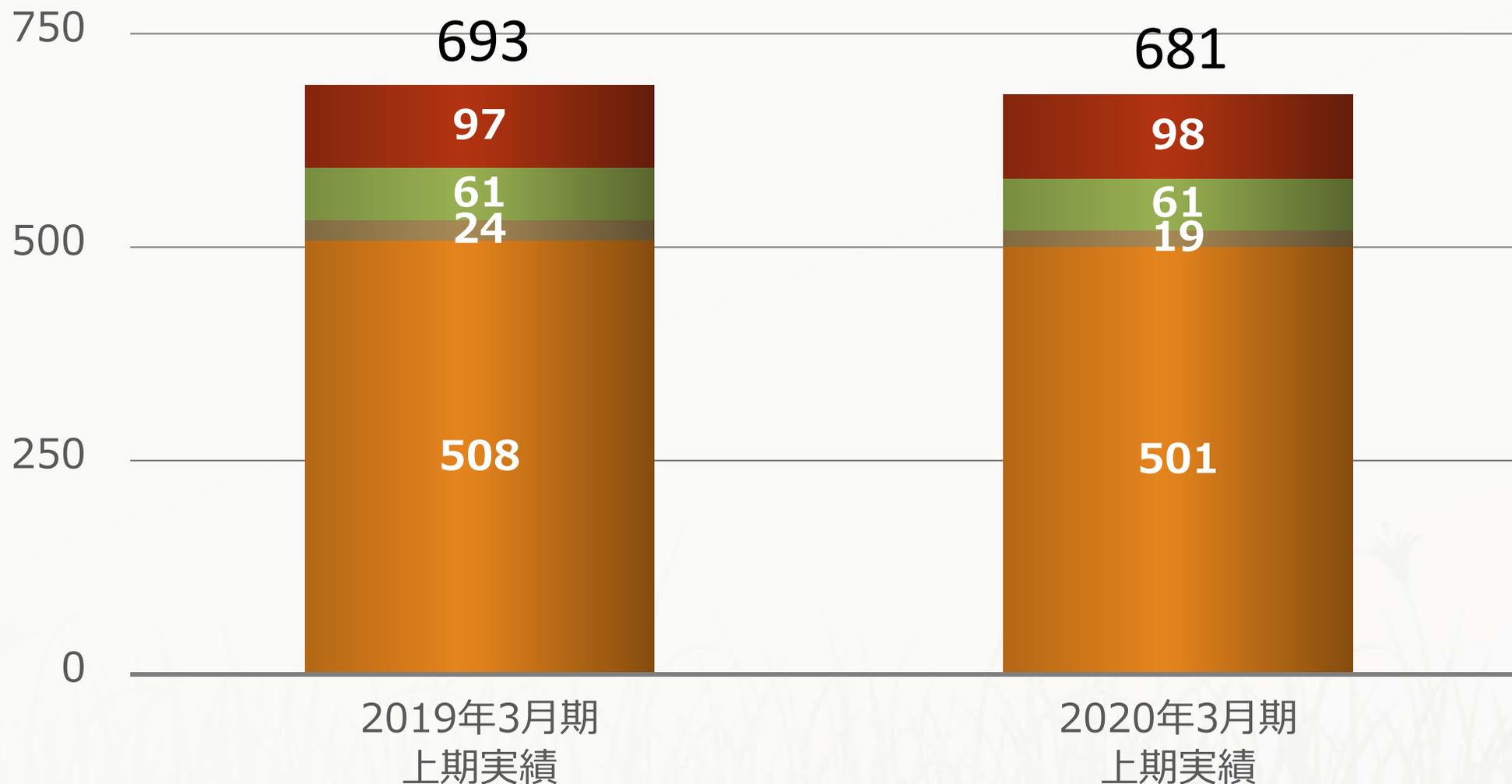
固定費内訳

— 前年同期比 —

(単位：百万円)

- 人件費
- 建物関係/減価償却費
- 外注費
- その他経費

人件費及び
外注費が微減



半導体

- ◆ 業界全体としては先行き不透明感
 - ◆ 貿易紛争等による需要低迷は出口が見通せず
 - ◆ 自動車・データセンター向けが低迷
 - ◆ スマホ向けは5G特需で底打ち感？
- ◆ 国内における設計委託の需要は引き続き旺盛

FPD

- ◆ 大型パネルは供給過剰 → 価格下落が顕著
- ◆ 異形パネルおよび新技術パネル開発へのシフト
- ◆ 国内における設計委託の需要は引き続き旺盛

- ◆ 群馬大学と共同研究開始の発表（プレスリリース）
 - ◆ AI技術により先進のLSI設計環境を構築する

- ◆ 「SX-Meister」 V7.0をリリース
 - ◆ 制約検証機能の拡張
 - ◆ 匠設計環境の改良
 - ◆ 異形パネル設計機能のサポート

- ◆ 海外展示会に出展
 - ◆ Design Automation Conference(DAC)（ラスベガス）
 - ◆ Display China 2019（上海）

- ◆ 自社セミナーを開催
 - ◆ SX-Meister Technology Seminar（東京／京都）
 - ◆ JEDAT Solution Seminar 2019（東京／京都）



1. 2020年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2020年3月期 通期予想

◆ EDA開発

◆ 主力製品「SX-Meister」の更なる機能強化

- ◆ 高効率化・高品質化に向けて開発体制の再編
- ◆ オープン・イノベーションの促進

◆ 「SX-Meister」の拡販活動

- ◆ アナログLSI設計：設計自動化、制約検証の提案活動
- ◆ ファンドリ対応：ライブラリ(iPDK)拡充に向けた体制を強化
- ◆ パワーデバイス設計：新分野の開拓
- ◆ 異形パネル設計：中国・台湾に重点販売

◆ 代理販売

◆ 効率的な販促活動の実施

- ◆ 自社セミナー「Partner Seminar」を開催し新規顧客を開拓

- ◆ ソリューション・ビジネス
 - ◆ 設計受託サービスの拡張
 - ◆ 設計体制の再編・効率化
 - ◆ 「ターン・キー」ビジネスの促進
 - ◆ EDAソフト受託サービスの拡張
 - ◆ 製造装置との連携環境を構築
 - ◆ 設計自動化環境の促進
- ◆ 海外市場向け
 - ◆ 営業体制の効率化
 - ◆ 重点商談にフォーカスした効率重視の営業活動

1. 2020年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 2020年3月期 通期予想

主力製品の更なる機能強化と拡販活動

ソリューション事業の効率化と拡張

海外市場向け営業体制の効率化

通期予想 - 前年同期比 -

(単位:百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期予想	
		期初計画	前年同期比
売上高	1,884	2,000	+ 6.1%
営業利益	116	170	+ 46.2%
経常利益	124	170	+ 36.2%
当期純利益	88	113	+ 27.7%

ご清聴ありがとうございました